

## 協力準備調査(BOPビジネス連携促進)

### バングラデシュ・緑豆生産の体制構築事業

(株式会社ユーグレナ (株式会社雪国まいたけから事業譲渡))

#### 開発課題

- ・国民の大半が農民である一方、農村地区の貧困率が高い。
- ・農薬や肥料の活用レベルは低く、付加価値の高い作物を栽培することができない。

#### 提案事業

- ・グラミン銀行と共同で、もやしの原材料となる高品質緑豆の栽培ノウハウを貧困層の農家に指導し、収穫した緑豆を従来より高い価格で農民から購入し、国内外に販売する。
- ・収穫後の選別作業や販売業務において、女性の雇用を創出する。
- ・日本向け緑豆の仕入れ先を安定的に確保しつつ、バングラデシュ向けの緑豆は低価格で販売する。
- ・利益はソーシャル・ビジネスの推進や貧困層の農民支援に活用する。

#### 「協力準備調査(BOPビジネス連携促進)」を通じた ビジネスモデル構築、事業計画立案



##### グラミン銀行と提携したソーシャル・ビジネス

- ・2011年7月グラミン雪国まいたけ設立(注: 2014年よりグラミンユーグレナ)。
- ・日本国内でもやしを販売。



#### 成果

- ・貧困農家による高品質の緑豆の栽培技術習得、収穫量・品質改善による所得・生計向上。
- ・生産拡大に伴う、契約農民としての農民の雇用増加、女性の雇用促進。  
(2015年は、参加農家数 3,184人、購入量1,500MT、輸出量730MT。結果、農家として合計1,050万円の収入増加※、バングラデシュとして1.3億円の外貨獲得を実現。※単収改善分は含まない収入増分)